

-上演決定のお知らせ-

シルク・ドゥ・ソレイユ「トーテム」を手掛けた「映像の魔術師」ロベール・ルパージュ氏が演出
日本文化と最先端ビジュアルテクノロジーが融合、「音を見る」サイマティクスで表現
太鼓と創造力が作りだす、新・視聴体感芸術

鼓童×ロベール・ルパージュ 〈NOVA〉

2020年5月23日（土）、世界初演・全国巡演スタート

太鼓芸能集団「鼓童」は、2020年5月23日（土）より、ロベール・ルパージュが演出を手掛ける「鼓童×ロベール・ルパージュ 〈NOVA〉（ノーヴァ）」を世界に先駆けて上演いたします。



▼オフィシャル画像は下記 URL よりダウンロードいただけます。

http://www.kodo.or.jp/kodo_pr/202005nova (pass: nova2020ja)

鼓童は、1981年にベルリン芸術祭でデビューした後、これまでに50カ国で6,500回以上の公演を行っている太鼓芸能集団です。2019年9月20日（金）「ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会 開会式」で太鼓のソロ演奏を披露したほか、12月21日（土）「国立競技場オープニングイベント」での演奏が決定しています。ロベール・ルパージュは、演劇に対するクリエイティブで独創的なアプローチにより世界的な賞賛を得ており、特に新たなテクノロジーを駆使することで古典的な舞台演出の概念を根本から揺るがす、今世紀における最も重要な舞台演出家の一人です。

——太鼓と創造力が作りだす、新・視聴体感芸術 〈ノーヴァ〉

ロベール・ルパージュが演出を手掛ける、「鼓童×ロベール・ルパージュ 〈NOVA〉」は、日本文化と最先端ビジュアルテクノロジーが融合する、新・視聴体感芸術です。映像や光、演者の動きをプログラミングして実現する“音を見る”=サイマティクス（意味：音や振動の可視化）。プロジェクションマッピングではなく、太鼓の音に合わせて、打ち手の生のリズムにテクノロジーが反応。音から動きが起こり、繋がり、物語が構築されます。人間本来の根源的なものを表現しながら、人が生きる上で忘れてはいけない、希望や夢など、「目には見えにくいもの」を表現します。

「鼓童×ロベール・ルパージュ 〈NOVA〉」公式サイト

<https://www.kodo.or.jp/nova>

——2020年5月23日（土）、世界初演

2020年5月23日（土）、東京建物 Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）の世界初演を皮切りに、熊本、新潟、山形、神奈川、愛知、大阪を巡演します。〈NOVA〉はラテン語で新しいという意味。鼓童とロベール・ルパージュが織りなす、見たことも感じたこともない新しい世界をお楽しみください。



◆ 東京公演概要

- ・公演名：「鼓童×ロベール・ルパージュ 〈NOVA〉」
- ・演出：ロベール・ルパージュ
- ・公演日程：2020年5月23日（土）～31日（日） ※休演日：5月27日（水）
- ・劇場：東京建物 Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）
- ・チケット発売日：2019年12月15日（日）
- ・主催：北前船、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団
- ・後援：カナダ大使館、ケベック州政府在日事務所
- ・製作協力：Ex Machina
- ・Technological partner for video and tracking：VYV
- ・協力：KAAT 神奈川芸術劇場、横須賀芸術劇場（（公財）横須賀芸術文化財団）、フェニーチェ堺
- ・特別協力：読売新聞社
- ・助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- ・企画：製作・著作：北前船



◆ 公演期間・公演地情報

- ・5月14日（木）・16日（土）：横須賀芸術劇場 ※プレビュー公演
- ・5月23日（土）～31日（日）：東京建物 Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）
- ・6月7日（日）：熊本県立劇場 演劇ホール
- ・7月10日（金）～12日（日）：新潟県民会館 大ホール
- ・7月25日（土）：やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館） 大ホール
- ・9月3日（木）～6日（日）：KAAT 神奈川芸術劇場
- ・9月11日（金）～13日（日）：愛知県芸術劇場 大ホール
- ・9月19日（土）：厚木市文化会館 大ホール
- ・9月26日（土）：フェニーチェ堺 大ホール

◆ ロベール・ルパージュ



ロベール・ルパージュは、演出家、脚本家、俳優、映画監督としても大成をおさめている。演劇に対するクリエイティブで独創的なアプローチにより世界的な賞賛を得、特に新たなテクノロジーを駆使することで古典的な舞台演出の概念を根本から揺るがした。著名な舞台作品としては、『ドラゴンズ・トリロジー』、一人芝居である『887』、オペラ作品『ファウストの劫罰』、マルチメディア作品においては『The Library at Night』、そしてシルク・ドゥ・ソレイユの『KA』及び『トーテム』などがある。

©V. Tony Hauser

◆ ロベール・ルパージュ コメント

「鼓童と一緒に今回創作することは私にとって挑戦です。常日頃、新しい分野に取り組んでいかなければならないと思っています。これまで演劇、オペラ、サーカス、ダンス、ロックンロールなど様々なジャンルとコラボレーションしてきました。いつも素晴らしい出会いに満ち溢れ、私にとって学ぶことがとても多くありました」

「鼓童とのコラボレーションには明白な答えがあるわけではないので、鼓童の神秘性を突き詰め、どの様にして成立しているのかを理解した上で、発明の様に新しく生み出さなければいけないと思います。既に私に沢山のものを与えてくれている鼓童にどうやって自分は与えられるのか、という意味でも大きな挑戦です」

◆ 太鼓芸能集団「鼓童」

佐渡島を拠点に、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年ベルリン芸術祭でデビュー。以来50の国と地域で6,500回を超える公演を行う。劇場公演のほか、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」や、多様なジャンルのアーティストとの共演、国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加している。2012年から2016年まで坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。2017年「幽玄」で坂東玉三郎氏と再共演を果たし、翌18年には歌舞伎座において新作歌舞伎「幽玄」として演奏で参加した。近年は石川さゆり、初音ミク、AI、元ちとせ、ブラフマンらと共演。2019年には19年ぶりの中国ツアーを成功させたほか、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」開会式、「国立競技場オープニングイベント ～HELLO, OUR STADIUM～」に出演。



撮影：岡本隆史